

ぼり調査を実施する。

2) 感染源報告済み

症例さかのぼり調査の結果として、感染源となっている患者が既に報告済みの場合には、その接触者調査の内容について検証する。

3) 感染源未特定

これまで SARS 患者と特定されていない者からの感染の可能性が示唆される場合には、感染源となった可能性のある者に対する患者調査、およびその患者の接触者調査を迅速に検討、実施する。

6. 接触者調査

1) 接触者調査にあたって背景となる SARS の知見

- ・ 主な感染経路は有症状者との飛沫感染・接触感染を介する濃厚な接触である。
- ・ 各国の知見は空気感染を積極的に示唆する証拠は無い、というものである。
- ・ 濃厚な接触による大量の病原体曝露が起これば、感染・発症の可能性は上昇する。
- ・ 症状の無い者からの感染の可能性は殆どない。
- ・ 発症後数日間（前駆期）の感染力は低い。特に有症状の患者が発症から 5 日以内に行動の制限を実施された場合においては、二次感染はほとんど起こっていない。
- ・ 発症して第 2 週目に入った重症患者や、急速に臨床経過が悪化していく患者に曝露された場合では、多数の接触者から SARS 感染者が発生する可能性を念頭に置くべきである。
- ・ 高齢者において、発熱等の症状が明らかではない場合があり得ることが報告されている。

2) 接触者の定義

ア) 可能性例以上との「高危険接触者（濃厚接触者）」

「可能性例」以上の患者が発熱または咳が出現した以降、発熱等の症状消失後 48 時間までの間に接触し、かつ以下のいずれかの定義を満たすもの。なお、全ての段階の患者との接触が症状消失後 48 時間までとした理由は、症状の消失を示す根拠が主観的であり明確にはなりにくいことによるが、症状の明らかな改善時間が判明している場合にはそれを基準としても良い。感染の危険度は通常は①→⑤の順である。まず①～③に対する調査を優先して行い、次いで④に対する調査を実行する。⑤に対しては、患者が医療機関受診時には発症より 1 週間前後が過ぎ、既に頻回の咳嗽および肺炎像を呈しており、かつ④の調査開始時点で接触者中に既に SARS 発症を疑わせる有症状者が出現している等の場合において調査を実施する。患者の医学的な感染効率を十分に評価するべきである。

※「可能性例」や「確定例」との明確な濃厚接触がある「疑い例」との『高危険接触者（濃厚接触者）』は、本項目に準じた取り扱いとする。

①世帯内接触者

患者と同一住所に居住する者全員、および感染期に当該住所で比較的長時間を過ごした訪問者。

②汚染物質の接触者

「可能性例」の体液（血液、喀痰、尿、便など）に、防護装備なしで接触のあったもの。具体的には防護装備なしで患者由来検体を取り扱った検査従事者、防護装備なしで患者の介護をした者、防護装備なしで患者の使用したトイレ、洗面所、寝具等の清掃を行った者等。

③医療関係者

患者の診察、搬送にマスク着用、手洗い等の防護対策なしに直接携わった医療関係者や搬送担当者。

④直接対面接触者

2メートル以内で上記患者と対面で接触のあった者。接触時間は短時間でもよい。勤務先、学校、会食やパーティー、カラオケボックス等での近距離接触者等がこれにあたる。当該患者との関連から、接触者の同定は比較的容易。

⑤閉鎖空間の共有者

- ・比較的閉鎖された空間において、2メートル以内の距離で空間を共有した者。
→乗用車、バス、列車、航空機等の交通機関内や、ホテル、レストラン、映画館、ホール等でのお互いに顔見知りではない近距離接触者がこれにあたる。
 - ・たとえ閉鎖空間の共有者であっても、当該患者と関係があり、ことばを交わしたり、行動を共にしたりした場合は「直接対面接触者」に分類される。
 - ・交通機関の調査では通常接触者の特定は困難であり、調査には航空会社やマスコミの協力が必要な場合もあるが、同時に正確な情報に基づいたパニック対策も考慮すべきである。
- ※閉鎖空間の共有者は患者と接触者が通常は互いに知り合いではなく、従って濃厚接触者の精密な特定は困難である場合が多いと思われる。

※ 防護対策を行って SARS 発症者と接触した医療従事者、搬送担当者について：

原則的に、マスク・手洗い等の防護対策を行って患者と接触した医療従事者や搬送当者は、接触者として追跡調査の対象とはならない。よって対象医療機関における院内感染対策の状況知することは接触者調査上も重要であり、これを概観的に評価する目的で「院内感染対策チェックリスト（添付5）」を付記しているので参考とされたい。なお、対象に該当する場合には接触後 10 日間は自己管理を徹底し、発熱等の症状が出現した場合は、速やかに自己隔離を行なった上での医療機関への連絡および受診についての相談を行うべきである。

イ) 可能性例以上との「低危険接触者（軽度接触者）」

「可能性例」以上の患者が発熱または咳が出現した以降、発熱等の症状消失後 48 時間までの間に接触し、かつ以下のいずれかの定義を満たす者。やはり通常の危険度は①→③の順と思われる。①～③のどこまでを状況確認調査の対象とするかは、患者および状況に応じて判断する。

※「可能性例」や「確定例」との明確な濃厚接触がある「疑い例」との『低危険接触者（軽度接触者）』は、本項目に準じた取り扱いとする。

- ①直接対面接触者のうち、ア) -③の定義を満たさない（すなわち職場や会食などで顔を合わせていても、患者の有症状期間内は2メートル以内での対面接触がなかった）者。
- ②可能性例と同じ施設、または公共交通機関（バス、鉄道、列車および航空機、映画館等）を利用した者のうち、ア) -④の定義を満たさない（すなわち2メートル以内での近距離接触のなかった）者。通常の調査では接触者の特定は困難であり、調査には航空会社やマスコミの協力が必要な場合もあるが、同時に正確な情報に基づいたパニック対策も考慮すべきである。
- ③直接対面接触はしていないが、共通の空調設備を有する施設を可能性例以上の患者と共有した者。

ウ) 疑い例との接触者

「可能性例」や「確定例」との明確な濃厚接触歴がない「疑い例」である患者において発熱あるいは咳が出現した以降、解熱後 48 時間までの間に接触し（可能性例以上との『高危険接触者』の項参照）、かつ以下のいずれかの定義を満たす者。原則的には、「疑い例」との接触者は状況確認調査の対象とはならない。「疑い例」は患者本人（家族）やあるいは医療関係者への電話による聞き取り（簡略調査）を実施するが、同調査には接触者のリスト作成のための調査は含まれない。

い。

(しかしながら「疑い例」の状況によっては、患者に対する調査の度合いも異なってくるものと予想される。①～③は、必要に応じて人権に配慮しながらリストを作成するための参考として提示するものである。)

①世帯内接触者

患者と同一住所に居住する者全員、および感染期に当該住所で比較的長時間を過ごした訪問者。

②汚染物質の接触者

「疑い例」の体液（血液、喀痰、尿、便など）に、防護装備なしで接触のあったもの。具体的には防護装備なしで患者由来検体を取り扱った検査従事者、防護装備なしで患者の介護をした者、防護装備なしで患者の使用したトイレ、洗面所、寝具等の清掃を行った者等。

③医療関係者

患者の診察、搬送にマスク着用、手洗い等の防護対策なしに直接携わった医療関係者や搬送担当者。

④直接対面接触者

2メートル以内で上記患者と対面で接触のあった者。接触時間は短時間でもよい。勤務先や会食、パーティー、カラオケボックス等での近距離接触者等がこれにあたる。

⑤閉鎖空間の共有者

比較的閉鎖された空間において、2メートル以内の距離で空間を共有した者。これには乗用車、バス、列車、航空機等の交通機関内や、映画館、ホール等での近距離接触者。閉鎖空間の共有者であっても、当該患者と関係があり、行動を共にした場合は「直接対面接触者」に分類される。

3) 接触者のリスト作成

症例調査に基づき、迅速に接触者リストを作成する。

4) 接触者状況確認調査

- ・接触者状況確認調査には、調査対象となった接触者に対する初回面接調査と、その後の追跡調査がある。
- ・調査期間は、接触最終日の翌日を第1日として、第10日目までである。
- ・接触者の調査には、接触者調査票を用いる。

5) 接触者に対する初回面接調査

- ①高危険接触者（濃厚接触者）に対する調査を最優先とし、患者発生後可能な限り短時間で濃厚接触者に対する初回面接調査を完了する。
- ②高危険接触者に対する初回面接調査は、訪問等による直接面談を原則とする。
- ③低危険接触者（軽度接触者）に対しても直接対面調査することが望ましいが、接触者の数を考慮し、電話面接も可とする。
- ④面談後の追跡調査時の連絡方法については必ず合意しておく。

6) 追跡調査

ア)「高危険接触者（濃厚接触者）」に対する追跡調査

- ①高危険接触者は原則的に自宅待機とし、毎日の居住場所への連絡により健康状態を確認する。
- ②SARS に関する説明文書、体温記録用紙（場合によっては体温計）、連絡相談担当者の電話番号を配付する。
- ③毎日朝夕2回体温を記録してもらい、その結果および他の全身症状の有無を毎日連絡担当者が問い合わせるか、あるいは担当者に報告するよう依頼する。
- ④連絡がとれなかった接触者に対しては、訪問などで積極的に状況把握を行うことなどをあらかじめ接触者と打ち合わせておく。
- ⑤外出や同居人、知人との接触も最小限に留めるように依頼する。
- ⑥発熱または何らかの症状が発現した場合には、自宅に留まり、速やかにあらかじめ指定した連絡先に連絡するように指導する。
- ⑦接触者から症状が発現したとの連絡を受けた場合、自治体担当課および保健所は指定医療機関と連絡を取り、同病院受診に繋げる。

※接触者に対する自宅待機の要請は、拘束力を持つものではない。あくまで、SARS 感染伝播防止の重要性を考慮し、接触者に対して十分な説明と理解を求めるよう努力する。

※特に注意を要する者（高齢者、基礎疾患を有する者）に対する追跡調査

シンガポールやカナダにおける重要な知見としては、高齢者の SARS 患者は発症時の症状がはっきりしない場合がある、ということであった。しかし、高齢であることや、基礎疾患を有することは、それ自体が重症化の危険因子とする多くの指摘があり、また、重症化しやすいということは、適切な患者管理が成されない場合には、比較的多数の接触者に二次感染を起こしうる可能性が高いことを示唆する。接触者調査の中で高齢者、基礎疾患を有する高危険接触者については、最初から特段の注意を払いつつ、定義に合致しない症状であっても何らかの症状(38℃以下の発熱、悪寒、全身倦怠感、食欲不振等)が発生しているとの情報が得られた場合には、当該者の行動制限に関する一時的な依頼を行なった後、医療専門職と直ちに相談した上で、当該患者の健康状態を嚴重に追跡する必要性について検討しなければならない。

イ)「低危険接触者（軽度接触者）」に対する追跡調査

- ①原則的に自主管理とする。が、状況の変化により、ア)可能性例以上との「高危険接触者（濃厚接触者）」に準じて調査が実施されることも想定される。
- ②体温と症状について毎日朝記録し、発熱または何らかの症状が発現した場合には、自宅に留まり、速やかにあらかじめ指定した連絡先に連絡するように指導する。
- ③接触者は症状がない場合は日常の行動を続けていてよいと考えられており、低危険接触者は原則として自宅待機の対象とはならない。
- ④しかし、調査期間中は念のため人ごみへの外出や出勤、登校は控えるようにした方が現実的なこともあり、本人と十分話をする必要がある。

ウ)「疑い例との接触者」に対する追跡調査

①原則的には可能性例以上との明確な接触歴のない「疑い例」との接触者に対する状況確認調査（初回面接調査＋追跡調査）は行わない。

7) 接触者追跡の中止

調査および検査の結果、接触した SARS 「疑い例」あるいは「可能性例」が、他疾患であることが明らかとなる等の理由により除外された場合（もはや「疑い例」あるいは「可能性例」の定義に当てはまらなくなった場合）は、当該する接触者も経過観察対象から外される。

8) 保健指導の実施

4. 患者調査 6) に同じ

7. 終わりに

2003 年 11 月末現在 SARS に対するワクチンはなく、有効な特異的治療法も存在しない。2 次感染による感染拡大の防止のためには、SARS 発症と判明した患者を速やかに医療機関へ収容することと、精密な疫学調査結果に基づいた SARS 患者との「接触者」の迅速な特定と適切な管理を行うことが、最も重要である。従って SARS 事例における疫学調査は、単に疫学調査だけにとどまらず、防疫の根幹を占めているといっても過言ではない。患者行動調査において接触者の正確なリストアップを行なうこと、また高齢の患者等、症状がはっきりしない者への対応を十分に行なうことは重要な感染拡大防止のポイントである。調査担当者は、調査期間中非常に緊迫した状況下におかれ、心身ともに消耗すると考えられる。調査中、調査後を通して担当者の心身の健康状態にも注意することが必要である。特に患者と直接接触した者に対しては慎重な対応が望まれる。

SARS 患者(可能性例・疑い例)発生時の患者調査票

※□欄の場合、該当する項目を☑すること 1.調査担当保健所・保健(福祉)センター()

重症急性呼吸器症候群(SARS)患者調査票		2.患者居住地保健所・保健(福祉)センター()	
3. 感染症発生届受理 No. _____		調査者氏名	
4. 届出医療機関名		5. 主治医名	
6. 届出医療機関所在地		7. TEL ()	
8. 届出受理日 平成 (西暦) 年 月 日 (時 分)		9. 受理自治体 (都・道・府・県・市)	
10. 受理保健所 保健所(センター)		11. 受理者名	
12. 患者氏名	13. 性別 男・女	14. 生年月日	年 月 日生 (歳)
15. 職業業種(注1) 注1) 職業・業種: 保育園、幼稚園、学校などの所属組名等、やや詳細に記入すること。			
16. 勤務先名・所在地		17. TEL ()	
18. 自宅住所		19. TEL ()	
20. 受理日現在の患者所在地 <input type="checkbox"/> 届出医療機関 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先・学校 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 不明		21. TEL ()	
22. 家族構成		23. 保護者氏名(注2) 注2) 保護者氏名・住所: 届出患者が未成年の場合	
氏名①	(続柄) 年 月 日生(歳)	24. 保護者住所 TEL ()	
氏名②	(続柄) 年 月 日生(歳)		
氏名③	(続柄) 年 月 日生(歳)		
氏名④	(続柄) 年 月 日生(歳)		
氏名⑤	(続柄) 年 月 日生(歳)		
氏名⑥	(続柄) 年 月 日生(歳)		
症状発現日		27. 年 月 日	
<input type="checkbox"/> 26. 38度以上の急な発熱		(29. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 28. 咳		(31. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 30. 息苦しさ、呼吸困難感		(33. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 32. 全身倦怠感		(35. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 34. 意識混濁		(37. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 36. 発疹		(39. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 38. 下痢		(41. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 40. その他1 (41.)		(42. 年 月 日)	
<input type="checkbox"/> 43. その他2 (44.)		(45. 年 月 日)	
46. 発病年月日 年 月 日 時		47. 初診年月日 年 月 日 時	
48. 診断日 年 月 日 時		49. 死亡日 年 月 日 時	

50. 感染したと推定される日		年 月 日 時			
	氏名	患者との関係	現在の居住地	最終接触日	SARS の診断の有無(○で囲む)
51. 誰からの感染を疑っているか					疑い例・可能性例・確定・診断無・不明
					疑い例・可能性例・確定・診断無・不明
					疑い例・可能性例・確定・診断無・不明
					疑い例・可能性例・確定・診断無・不明
SARSの発生が報告されている地域・都市名への立ち入りおよび滞在歴(今後のSARS症例発症地域により、右記地域は随時変更される)		<input type="checkbox"/> 中国 (52. 北京・53. 広東省・54. 山西省・55. 天津・56. 内モンゴル自治区) ○で囲む。複数可。 <input type="checkbox"/> 57. 香港特別行政区 62. 滞在期間 年 月 日～ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 58. 台湾 <input type="checkbox"/> 59. _____ 63. 同行者 ()名 <input type="checkbox"/> 60. _____ 64. 旅行会社名() <input type="checkbox"/> 61. _____ 65. 帰国便名: 複数の場合、全て記入 ()			
66-1. 既往歴		66-2. 症状出現前10日以内供血歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 供血日 年 月 日 供血場所 _____			
SARS 患者の治療経過及び検査結果					
治療		67. 治療薬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 68. 服薬開始日 年 月 日 69. 投与薬剤名 ()			
70. (入院)医療機関名		71. 主治医名()		72. 入院の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明	
73. (入院)医療機関所在地		74. TEL ()			
入院期間		入院 (75. 年 月 日 ~ 76. 年 月 日)			
検査結果	検査項目	検査値もしくは所見		検査日	
	胸部X線	77. 肺炎像 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 《所見》		78. 年 月 日	
	胸部CT	79. 肺炎像 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 《所見》		80. 年 月 日	
	白血球	81. / μ l		82. 年 月 日	
	リンパ球	83. % (/ μ l)		84. 年 月 日	
	CPK	85. IU/l		86. 年 月 日	
	AST	87. IU/l		88. 年 月 日	
	ALT	89. IU/l		90. 年 月 日	
	CRP	91. mg/dl		92. 年 月 日	
	PaO ₂	93. %		94. 年 月 日	

その他	95.	96.	年	月	日	
採取検体	<input type="checkbox"/> 97. 咽頭ぬぐい液	<input type="checkbox"/> 98. 喀痰	<input type="checkbox"/> 99. BAL液	<input type="checkbox"/> 100. 血液	<input type="checkbox"/> 101. 便	<input type="checkbox"/> 102. 尿
	<input type="checkbox"/> 103. 他_____	104. 検体提出日(年 月 日)		105. 提出先_____		
特殊検査結果	106. RT-PCR 検査(年 月 日): 陽性・陰性・検査中			107. 検体材料_____		
	108. ウイルス分離・同定(年 月 日): 陽性・陰性・検査中			109. 検体材料_____		
	110. 血清抗体価(年 月 日): 陽性()・陰性・検査中					
111. 初回調査時の状態						
判定	<input type="checkbox"/> 112. 確定	113.	年	月	日	
	<input type="checkbox"/> 114. 可能性例	115.	年	月	日	
	<input type="checkbox"/> 116. 疑い例	117.	年	月	日	
	<input type="checkbox"/> 118. 保留	119.	年	月	日	
	<input type="checkbox"/> 120. 否定(不安例を含む)	121.	年	月	日	
122. 症例棄却の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	123.	年	月	日	124. 理由
125. 初回調査後の経過						

*接触者については、別表の接触者調査票を用いる

※□欄の場合、該当する項目を☑すること

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅱ

患者発生届受理番号:

患者氏名〔

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症日	月	日					
より							

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅲ

患者発生届受理番号:

患者氏名[

発症日より	月 日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症1日後	月 日						

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅳ

患者発生届受理番号:

患者氏名〔

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症2日後	月	日					

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票 V

患者発生届受理番号:

患者氏名 [

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症3日後	月 日						

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票VI

患者発生届受理番号:

患者氏名[

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症4日後	日	日					

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅶ

患者発生届受理番号:

患者氏名()

発症日 より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症5日後	月 日						

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅶ

患者発生届受理番号：

患者氏名〔

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症6日後	月	日					

備考：

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票IX

患者発生届受理番号：

患者氏名〔

発症日より	月 日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症7日後	月 日						

備考：

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票X

患者発生届受理番号:

患者氏名〔

〕

発症日より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症8日後							

備考:

SARS患者（可能性例・疑い例）行動調査票Ⅱ

患者発生届受理番号:

患者氏名〔

発症日 より	月日	時間	所在地、滞在先、施設名 (住所、連絡先、窓口等)	発症者の行動と接触状況 (2メートル以内の濃厚接触については詳細に記載すること)	接触者(氏名・年齢・性別・ 濃厚接触の有無等)	接触者住所	接触者連絡先 (TEL、携帯TEL等)
発症10日後	月 日						

備考: